

2011 名城大学環境ガイド

〔環境報告書〕

グリーンキャンパスの創造に向けて

名城大学
Meijo University

環境方針カード
地震に備えてカード付

グリーンキャンパスの創造に向けて

名城大学は、地域のみならず
我が国における教育研究のリーダーとして
「環境の21世紀」にふさわしい
環境を創造するために、持続的に発展可能な
循環型社会と文化の構築に寄与し、
教育研究をはじめとする全ての
活動において、「環境」に配慮した
キャンパス運営に挑戦しています。

名城大学ISO14001フォーラムのあしどり

- 第1回 2001年開学75周年フォーラム
日程:平成13年9月21日(金)
- 第2回 認証取得記念/フォーラム
日程:平成14年12月14日(土)
- 第3回 フォーラム
環境マネジメントシステムの継続的な改善に向けて
—学生・教職員の立場から—
日程:平成15年12月13日(土)
- 第4回 環境マネジメントシステムの継続的な改善に向けて
—認証取得3年を経過して—
特別講演「環境と法」
日程:平成17年4月23日(土)
- 第5回 環境マネジメントシステムの継続的な改善に向けて
—エネルギートーク in 名城大学—
日程:平成18年6月24日(土)
- 第6回 ISO14001フォーラム
—基調報告と映画上映—
日程:平成19年12月8日(土)
- 第7回 ISO14001フォーラム
「地球温暖化問題」
—現在の産業界の取り組みと我々のすべきことは?—
日程:平成20年12月4日(木)
- 第8回 ISO14001フォーラム
「生物多様性と環境保全」
日程:平成21年12月5日(土) 13:10~15:40
- 第9回 ISO14001フォーラム
「大学と企業における環境への取り組み」
日程:平成22年12月4日(土) 13:10~15:00



index

名城大学の環境マネジメントシステム (EMS)	2
環境方針	2
名城大学環境マネジメントシステム組織図	3
取り組み目的・目標および行動	3
2009年度 環境マネジメントシステムの活動状況	4
廃棄物の分別	5
キャンパス内での廃棄物処理	5
キャンパス外(自宅、地域)での廃棄物処理	7
環境報告書	9
1.省エネルギー	9
2.省資源	9
3.廃棄物排出量	10
4.地球温暖化	10
5.PRTR対象化学物質	10



第9回ISO環境フォーラム開催



環境マネジメントシステム(EMS)

2002年6月にISO14001を認証取得し、環境に配慮した教育、研究、経営に向け、その第一歩を踏み出しました。

ISO14001とは、国際標準化機構（ISO [International Organization for Standardization]）が1992年の地球サミットの取り組みに関連し、環境に関する国際的な枠組みを検討する必要を確認し、1996年に発行した環境マネジメントシステム（EMS）に関する国際規格です。

ISO14001は継続的に実施・改善するPlan（計画）、Do（実施）、Check（点検）、Action（見直し）のシステムです。

環境方針

名城大学の環境マネジメントシステムの対象範囲は天白、八事、可児の各キャンパスに附属農場、附属高等学校、日進グラウンドを加えた全キャンパスになります。

名城大学環境方針

● 環境理念

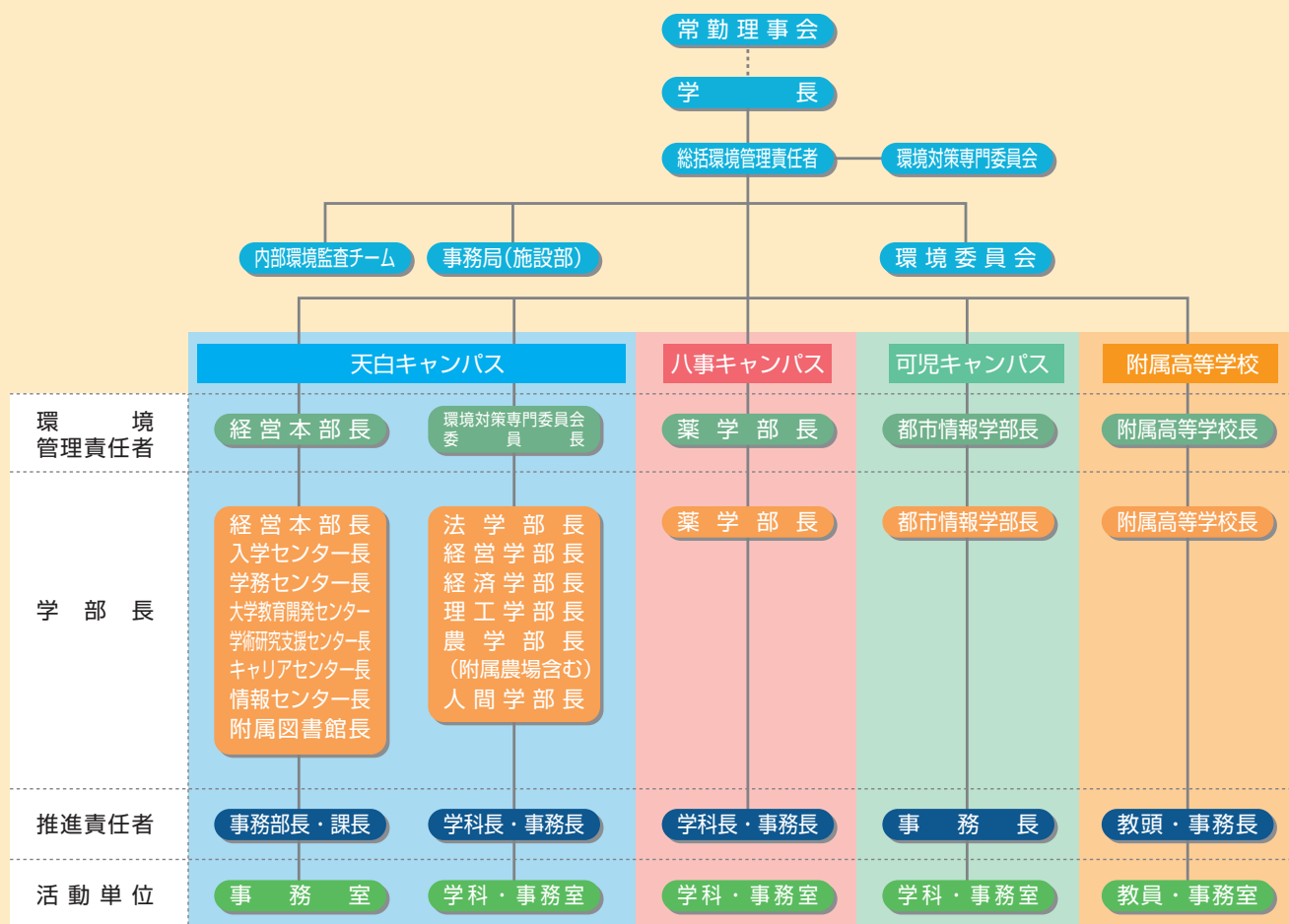
名城大学及び名城大学附属高等学校は、情報化、高度化、国際化する社会の要請と、「環境の21世紀」に応えられる教育研究を推進し、持続的に発展可能な循環型社会の形成に寄与する人材の育成に努めます。

● 環境方針

- ① 地球環境の保全と維持向上に係る教育研究活動を充実し、環境を視野に入れた人材を育成します。
- ② 環境に係る公開講座などの開催や研究成果の公開を推進し、環境保全に貢献します。
- ③ 省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理に努め、環境負荷の低減に取り組みます。
- ④ 教育研究をはじめ、総ての活動において、環境関連法規制、協定等を遵守し、汚染の予防に努めます。
- ⑤ 内部監査を実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- ⑥ 環境方針を達成するため、環境目的、目標を設定し、定期的に見直します。
- ⑦ 環境方針は、インターネットホームページで公開します。

平成23年4月1日
名城大学学長 中根 敏晴

名城大学環境マネジメントシステム 組織図



環境方針の具体的な行動

環境方針を具体化するための目的及び皆さんが実施する行動が次の事項です。皆さんに配布した「環境方針カード」の裏面に、「皆さんが実施する行動」の欄から3つ選択し、記入して下さい。

環境方針カード



この中から記入して下さい。



自己の環境方針を環境方針カードに記入して、学生証とともに常に携帯してネ！

※環境方針カードの裏面は地震に備えてカードです。

目 的	皆さんが実施する具体的な行動
節 電	● 冷暖房の効き過ぎに注意 ● 使用しない時の、教室・研究室・トイレの消灯 ● 使用しない時の、パソコンのスイッチOFF
節 水	● 実験や手洗いの時、水のムダ使いに注意
コピー用紙 使用量削減	● 裏面コピーの利用 ● 両面コピーの推進
廃棄物の削減	● 分別の徹底 ● 紙ごみのリサイクル推進 ● 持ち込みごみの持ち帰り徹底
喫 煙 場 所	● 喫煙は灰皿の設置された場所で

2009年度 環境マネジメントシステムの活動結果

目 的	目 標	目 標 値	活 動 状 況
環境に係わる教育活動の推進	環境関連科目の継続的開講	開講率100%	開講要覧や時間割に従って実施し、100%開講しました。
	環境関連教育の充実*1)	充実度80%	5学部で実施し、充実度73～100%であった。
	環境関連科目の定期試験受験率の向上*2)	受験率90%	4学部で実施したが、受験率57～97%と格差があった。
	環境関連科目履修者への環境意識調査の実施	実施率50%	4学部でアンケート調査を計画したが、1学部のみの実施(アンケート回収率71.5%)であった。
	講義・教科・授業以外の環境教育の実施	各学部等で設定	オリエンテーションでの環境教育、デイハイクや学内外清掃活動で環境に対する意識を高めた。
	環境関連資格講座の受講者数の増加	5%増	全学生向け環境関連資格講座を設け受講ガイダンスを実施し、(eco検定、2級ピオトープ管理士、公害防止管理者、技術士補、危険物取扱者、食生活アドバイザー3級) 資格講座全体で309名(昨年度212名)の受講者を得て実施した。
	実験科目での環境保全指導の徹底	実施率100%	理工・農・薬の学部で実験実習手引書による実験薬品の安全な保管管理と廃液の適正処理方法を教育指導した。
	"学生・生徒が行う環境行事への支援"	2回／年以上	全キャンパスで構内外の清掃活動「クリーンアップ大作戦」を16回実施した。附属高校は、郊外清掃9回・特別美化活動を14回実施した。
	大学祭・文化祭での学生・生徒への廃棄物処理等の指導・助言	1回／年以上	学生・生徒に「クラブ活動ハンドブック」、「名城大学環境方針カード」、「資源とごみの分け方・出し方一覧表」を配布し、大学祭前や文化祭前に説明・指導した。
	環境フォーラムの開催	1回／年	平成21年12月5日に開催し、多数の学生、教職員及び近隣住民の方(合計約500名)が参加しました。
環境に係わる研究活動の推進及び研究成果の公開	公開講演会の積極的開催	1回／年以上	名城大学Dayでの環境関連の公開講座や、サービスサイエンスの公開講座を実施。
	学外公開講演会、出前講義等への講師派遣	各学部等で設定	経営・経済・人間・農・都市情報等の各学部で学外講演会や出前講義に講師を派遣しました。
省資源の推進	コピー用紙購入量の削減	3%削減	前年比 87,897kg/H20年度→95,076kg/H21年度 108.2%と3%減の目標に対して 8.2%増となった。
	水使用量の削減	市水:3%削減	前年比 120,914m3/H20年度→106,376m3/H21年度 88.0%と3%減の目標に対して12.0%減となった。
	PRTR対象化学物質使用量の削減	1%削減	PRTR対象化学物質の取扱量は、合計892kg(67物質)で、前年度比25.2%削減した。
省エネルギーの推進	電気使用量の削減	1%削減	前年比 23,406,205kwh/H20年度→24,645,690kwh/H21年度 105.3%と 1%減の目標に対して 5.3%増となった。
	ガス使用量の削減	1%削減	前年比 1,112,082m3/H20年度→650,550m3/H21年度 58.5%と 1%減の目標に対して 41.5%減となった。
	重油(ボイラー燃料)使用量の削減	1%削減	前年比 216,012kg/H20年度→223,245kg/H21年度 103.3%と 1%減の目標に対して 3.3%増となった。
	実験機器リストの作成(電力:3kw、水:3kg/分以上)	作成率80%	新規の実験機器と実験室移動(11号館へ)の移設機器について調査した。
一般廃棄物の適正管理と減量	廃棄量の削減	3%削減	前年比 150,991kg/H20年度→153,477kg/H21年度101.6%と3%減の目標に対して 1%増となった。 産業廃棄物の適正処理については、廃棄物処理依頼業者の中間処理状況視察監査を3社実施し、適正処理を確認した。
産業廃棄物の適正管理と減量	学部ごとの有害物質・環境・安全の管理マニュアル見直し	随時	環境・安全対策委員会で検討し、見直し終了。 (農学部:2010年度版発行)
	保有薬品リストの作成	作成率100%	薬品リストによる購入量・使用量の記録、薬品の購入・保有管理表の作成、教室会議で周知。
	実験薬品・材料の購入量の適正化	10%削減	各研究室では購入量と使用量を記録し、適正な購入量の管理に取り組んでいますが削減には至っていない。研究に支障をきたさない範囲で削減に努力。
再開発工事における環境影響の低減	騒音・振動等の環境問題発生低減	環境問題の発生ゼロ	設計業者、施工業者と定期会議を開催し問題点を確認、地域住民に事前案内、事後フォローを実施。 13件/H18年度→3件/H19年度→1件/H20年→1件/H21年と低減。
地球温暖化の防止	二酸化炭素の排出量の削減	1%削減	サイト全体のCO2排出量は、前年度比2%の微増。 建物延べ面積当りのCO2排出量も前年度比2%の増加(102%)となったが、過去最大の2002年(平成14年)からは85%となり、長期的にみて改善している。
法令順守	法令公的資格の取得推進と法令規制に基づく作業推進	資格者作業100% 法に基づく作業の実施100%	廃棄物処理、省エネ法等、環境関係の公的資格を見直し、法定有資格者一覧表を作成し届出登録者と充足状況を整理。 資格取得のみならず、環境マネジメントシステム運用のための環境法令や、地域からの要求事項を再調査して整理。

*1)環境内容を含んだ講義時間数／全講義時間数 *2)受験者数／履修者数



廃棄物の分別

クリーンなキャンパスを自分達の手でつくろう!! そして廃棄物^{ゼロ}“0”化を目指します。

キャンパス内での廃棄物

1 廃棄物の分別方法

天白・八事キャンパス

燃やせる物

生ゴミ、木屑、ティッシュ、紙製のトレイ、写真、紙等、及び化学繊維、人工皮革、ゴム製品



燃やせない物

ビニール類、ガラス、カップ麺容器、プラスチック製容器、フロッピーディスク、ボールペン、ストロー、ペットボトルのキャップ、菓子類包装袋、コンビニの袋



ペットボトル

プラスチック識別マークが下記のように♻️のものに限定。(キャップをとり、中身を洗浄し、つぶす。)



ビン・缶

飲料用ビン・缶類(キャップをとり、中身を洗浄)
スプレー缶(穴をあける)
薬品ビンは絶対に入れないでください。



紙 専 用

新聞、雑誌、コピー用紙、講義用プリント、ノート、リーフレット、パンフレット、チラシ、厚紙、封筒(窓付封筒は除く)



可児キャンパス

燃やせる物

生ゴミ、木屑、ティッシュ、紙製のトレイ、写真、感熱紙、剥離紙等、ビニール類、カップ麺容器、ストロー、ペットボトルのキャップ、プリン・インスタント食品の容器、キャンディ・菓子類の包装袋、コンビニの袋、プラスチック製の容器



燃やせない物

ガラス、陶磁器、金物類、プラスチック製の大型ボックス等



ペットボトル

プラスチック識別マークが下記のように♻️のものに限定。(キャップをとり、中身を洗浄し、つぶす。)



ビン・缶

飲料用ビン・缶類(キャップをとり、中身を洗浄)
スプレー缶(穴をあける)
薬品ビンは絶対に入れないでください。



2 紙類のリサイクル

各号館ホールおよび特定個所に設置された紙専用回収ボックスに入れてください。紙専用回収ボックスには紙以外のものは入れないでください。

リサイクル可能な紙

レシート、新聞、雑誌、コピー用紙の他、授業中に配布されたプリント、厚紙、ハガキ、封筒（セロハン系の窓付き封筒は不可）、チラシ、リーフレット、パンフレット、ノート、紙製のフラットファイル（止め具は除く）、紙製菓子箱（平に広げる）等も可能。

リサイクル不可能な紙

写真、油紙、トレーシングペーパー、紙コップ、粘着テープのついたもの、プラスチック製のファイル、使用済みのチリ紙、クリップ、ビニール・ゼロハン系の袋、タバコの吸殻、牛乳パック（牛乳パックは洗浄し切り開いて、近くのスーパー等に持参）



3 自動販売機紙コップ

学内自動販売機設置個所にはデポジット機（紙コップ回収専用機）が設置されていますのでその中に入れて下さい。

4 産業廃棄物

実験廃液、廃棄実験器具類（ガラス・プラスチック・金属）、実験動物の屍体、注射針等の感染性廃棄物、コンクリートくず、機械系の実習で排出された金属くず、不要什器機器類、体育系クラブ団体の活動用道具等。

種類と内容物		分別・回収
実験、研究で排出	廃プラスチック類（プラスチック類、ディスプレイ製品、ゴム製品等、滅菌したプラスチック類）	研究室もしくは廃棄物保管庫で指定したダンボールに保管
	ガラスくず（シャーレー、試験管、陶磁器類、滅菌したガラス類）	
	廃薬品、廃油、廃液	研究室もしくは廃棄物保管庫で指定した容器に保管
	コンクリートくず、金属くず	指定場所に保管
	薬品びん	研究室にて保管
クラブ団体活動用具等	金属物（不用品、OA機器等）	各クラブ室で回収日まで保管
	運動系の用具、木製什器、プラスチック系の什器類、イス	各クラブ室で回収日まで保管

※研究室での排出物は該当教員の指示、クラブ団体での排出物は学務センターの指示に従い絶対に一般の分別ボックスには入れないでください。

5 放置自転車

駐輪場は通学用のために自転車を置く場所です。決して不要な自転車を本学の駐輪場に放置しないでください。

※放置自転車には、原動機付自転車を含みます。

可児市の廃棄物の出し方・分け方

可児市 ごみ・リサイクル資源の分け方・出し方

ごみ出しはマナーを守って住み良い環境

一ごみ出しルール5か条一

- ①分別をきちんと守りましょう。
(収集日程表の裏面に、品別時の分別表が掲載してあります。)
- ②ごみは前日から出さず、朝8時までに出しましょう。
- ③集積場は、きれいに使いましょう。
- ④「捨てればごみ 使えば資源」
ごみを減らす努力をしましょう。
- ⑤・ごみ袋、燃大ごみシールへの名前と住所の記入
・ごみ袋の口をきちんと閉じる
・燃大ごみシールは見える位置に貼る
など、正しい状態でごみ出しをしましょう。

不燃ごみ集積場に出せるごみ

◆不燃ごみ



家庭用不燃ごみ収集袋

可児市指定の不燃ごみ袋に入れて出してください。

※不燃物毎箱重量は20kgを超える場合は大森ガレキ処分場へ直接搬入
毎月第2・4日曜日
午前9時から午後4時迄 開場
詳細は別途を参照。

不燃ごみは3種類にわかれます。ごみ袋にお図のように出す種類ごとに丸をつけて出してください。

①資源物

- ・電化製品 (家電リサイクル品除く)
- ・プラスチックの筒
- ・缶類 等

②ガラス類

- ・ガラス製品
- ・白熱電球
- ・蛍光灯 等

③陶磁器類

- ・瓦
- ・コンクリート破片
- ・皿、茶碗 等

可燃ごみ集積場に出せるごみ

◆可燃ごみ



家庭用可燃ごみ収集袋

可児市指定の可燃ごみ袋に入れて出してください。

一可燃ごみの例一

- ・生ごみ (水気を切る)
- ・紙くず類
- ・布類
- ・ビニール類
- ・薄いプラスチック 等

燃大ごみシール (500円) を見える場所に貼って出してください。

燃大ごみ (150cm×80cm×80cm以内)

◆燃大ごみ



燃大ごみシール (500円) を見える場所に貼って出してください。

一燃大ごみの例一

- ・家具
- ・布類
- ・自転車 等

※自転車、スキー板は、規定サイズを減らしていても出すことが出来ず、サイズを超える燃大ごみの出し方は、下の「集積場に出せないごみ」を参照

リサイクルステーションに出せる資源

◆飲料用ビン



色ごとに分けて、それぞれの箱に入れてください。
(※キャップは必ずし、軽く叩きつけて出してください。)

※生きビン(ビールビン・サントリービン)

◆食食用カン・ペットボトル・家電スチロール・トレイ



種類ごとに分けてそれぞれの箱に入れてください。
(※汚れやすい汚れを落とすしてください。)

※アルミカン
※スチールカン
※ペットボトル
※家電スチロール・トレイ

集積場に出せないごみ

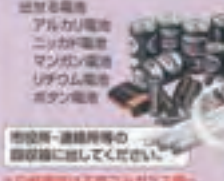
◆資源物回収品



新聞・雑誌・ダンボール・紙パック類

小中学校やエコ館等の資源回収場に出してください。

◆乾電池・蛍光灯・体温計(水銀タイプ)



出せる電池
アルカリ電池
ニッケル電池
マンガン電池
リチウム電池
ボタン電池

市役所・連絡所等の回収場に出してください。
(※乾電池は不燃ごみ袋に入れてはダメ)

◆家電リサイクル品



エアコン・冷蔵庫・洗濯機・洗濯機・乾燥機・テレビ(液晶・プラズマ・ブラウン管ともに)

定められた方法で出してください。詳しくは別途参照。

◆パソコン (リサイクルマークのあるもの)

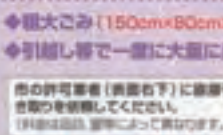


メーカーに連絡し、適正な処理をしてください。
詳しくは別途参照。

※リサイクルマークのないものは、不燃ごみ袋に入れて出してください。

◆燃大ごみ (150cm×80cm×80cmを超過するもの)

◆引越し等で一度に大量に出るごみ



市の許可業者 (表裏右下) に依頼し、許可状を提出してください。
(料金は別途、別表によって異なります。)

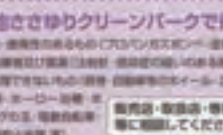
◆その他さきりクリーンパークで処理できないごみ (処理困難物等)



- ・刃渡り・危険性のあるもの(ガスボンベ等)・塗料・バッテリー等
- ・危険物等(危険物等)・危険物の容器(危険物等)
- ・燃大ごみでないもの(燃大ごみ)・燃大ごみの容器(燃大ごみ)
- ・燃大ごみでないもの(燃大ごみ)・燃大ごみの容器(燃大ごみ)

市内各・各施設・専門の処理業者等に相談してください。

◆その他さきりクリーンパークで処理できないごみ (処理困難物等)



市内各・各施設・専門の処理業者等に相談してください。

市の許可業者

電話 本
062-3310
小森産業
054-1283

ご不明な点は可児市環境課 (62-1111) までお問い合わせください。可児市公式サイトの「コミュニティ」から「お問い合わせ」をクリックしてお問い合わせいただけます。

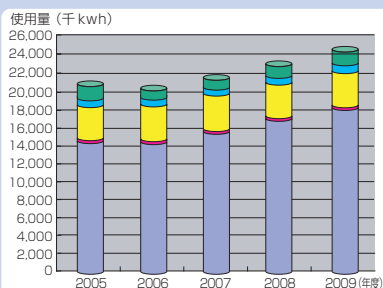
8

環境報告書

1 省エネルギー

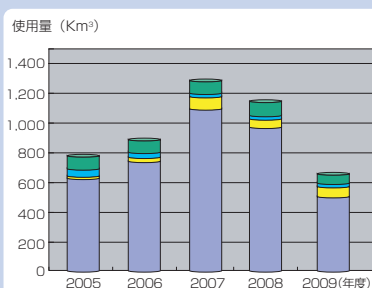
■ 附属高等学校 ■ 可児キャンパス ■ 八事キャンパス ■ 附属農場 ■ 天白キャンパス

1) 電気



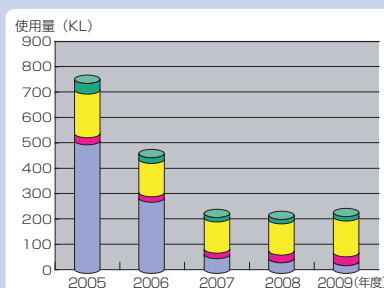
再開発工事及び重油から都市ガスへの燃料転換で、前回に引き続いて前年比5.4%増加しました。新校舎の省エネ設計、学生ボランティア協議会等の学生団体による環境・省エネパトロールで省エネの向上に努めています。

2) 都市ガス及びプロパンガス



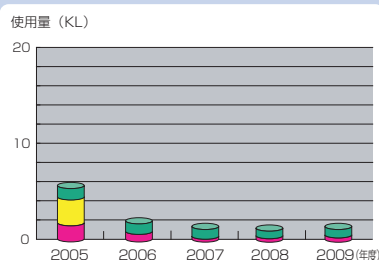
2007年度に重油から都市ガスへの燃料転換を進めた結果、天白キャンパス、八事キャンパスで削減効果が現れ、大学全体で削減した。

3) 重油



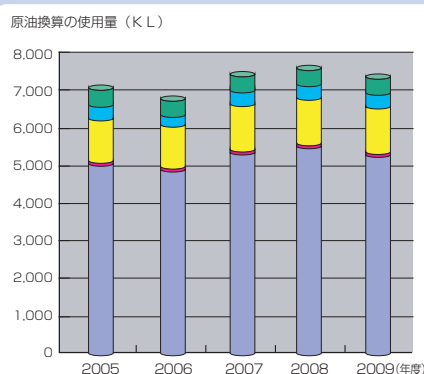
重油から都市ガスへ燃料転換した結果が現れています。(重油は硫酸化合物による大気汚染や、CO₂による地球温暖化の影響が大きい)

4) 灯油



灯油は灯油ボイラーの廃止や使用回数の減少で、削減しました。

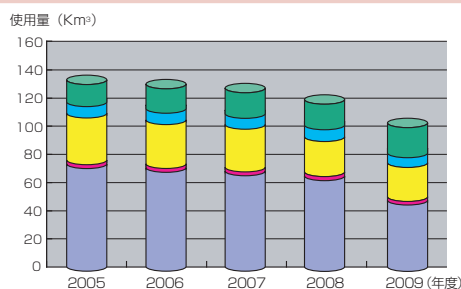
5) 総エネルギー使用量(原油換算)



2007年度以降の、天白キャンパスの再開発工事での研究実験棟Ⅰの竣工、八事キャンパスの再開発工事等で、前年比微増や微減の傾向である。

2 省資源

1) 市水の使用量

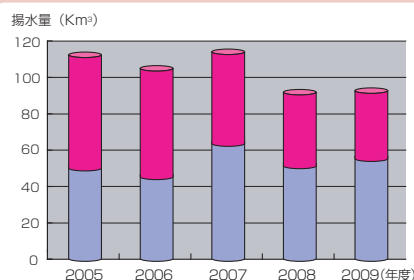


冷却水の循環使用の推進、漏水チェック体制の確立、節水活動等の効果により毎年減少しています。

節約!



2) 地下水揚水量

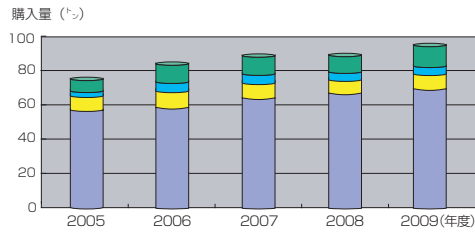


天白キャンパスは2008年度の漏水チェック体制確立で一時減少しましたが、2009年度は前年比4.6%増加しました。附属農場は農作物への散水のため夏場の天候により増減しますが、前年比5.4%減少しました。

地下水で
農産物も
良く育つわ



3) コピー用紙(PPC用紙)の購入量

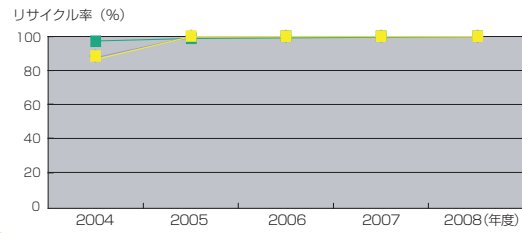


もっと節約
できるよな

05年度から増加に転じました。裏面利用や両面コピーはもちろんのこと、電子媒体の積極利用や会議資料等改良を実施してきましたが、研究論文作成や学内外への案内資料等やむおえない事情もあります。



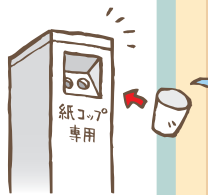
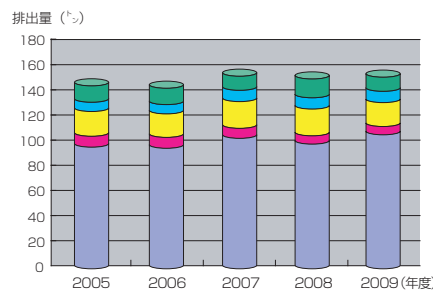
4) 紙類のリサイクル



リサイクル率はほぼ100%です。各所に「紙専用回収ボックス」を設置し、更に「環境パトロール」でゴミ箱に紙類が捨てられていないことを確認しています。

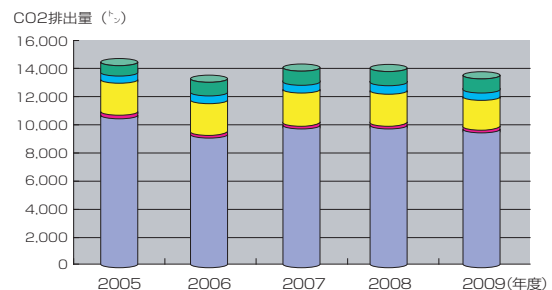


3 一般廃棄物排出量



各所に「分別容器」を設置し、「環境パトロール」で中身をチェックしています。

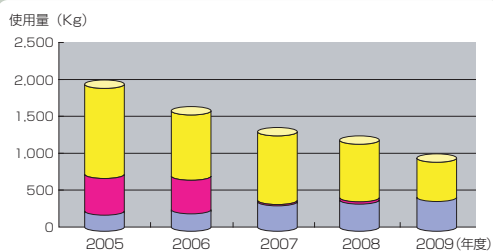
4 地球温暖化



天白・八事両キャンパスの再開発工事等により、2007年度以降電力の使用量は増加しましたが、重油から都市ガスへの燃料転換で重油の使用量が大幅に削減しました。その結果、大学全体としてCO2排出量は2007年度以降減少しています。

5 PRTR対象化学物質

使用量の推移



PRTR対象化学物質の毎年1%削減を目標にしていますが、05年度以降は使用量が大幅に減少しております。

使い過ぎに
注意しよう！



そうだね！

【省エネ対象項目と削減目標】

省エネ対象項目	電気	気体燃料		液体燃料		市水	井水	コピー用紙	一般廃棄物
		都市ガス	LPG	重油	灯油				
2009年度の削減目標値※	1%削減	30～50%増加	1%削減	1%削減	1%削減	3%削減	1%削減	3%削減	3%削減

※削減目標はキャンパスにより異なります。



Environment Guide of
Meijo University

2011 名城大学環境ガイド

発 行 / 名城大学 経営本部 施設部
住 所 / 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
T E L / 代表 052-832-1151 (内線2169、2091)
ダイヤルイン 052-838-2011
F A X / 052-833-5523
U R L / <http://www.meijo-u.ac.jp/>
E-Mail / ookankyo@ccmails.meijo-u.ac.jp



この大学案内誌は再生紙と
環境にやさしい植物性大豆
インキを使用しております。

2011.4.1